



住宅版エコポイント制度

昨年「家電製品・エコカー」から始まった「エコポイント制度」。住宅でも同様な制度が始まります。この各種エコポイントの背景にあるのが「地球温暖化対策」です。「家電・車」そして「住まい」も消費エネルギーを少なくする「省エネ化」またはエネルギー効率を良くする事が具体的目標です。(景気浮揚策の一面もある。)

《 制度概要 》

- どんな工事にこの制度が使えるの？
 - 「エコ住宅の新築」(※エコ住宅の認定には一定以上の省エネ性の証明が必要)
 - 「エコリフォーム」
 - ①窓の断熱改修、②床を含む建物周囲の断熱改修、③バリアフリー改修
- どの位のポイントが発行されるの？(1ポイント = 1円相当)
 - 「新築」 1戸当たり 300,000ポイント
 - 「リフォーム」 1戸当たり ①工事+②工事+③工事 = 300,000ポイントが限度
- ポイントは、どんな物と交換できるの？(1/20現在未定な部分あり)
 - 環境配慮型商品、商品券地域振興券等、工事に付随する追加的工事費に充当
- いつまでの「工事」に適用されるの？
 - 「新築、リフォーム」とも 平成22年 12月31日までの着工物件

※ 以上がこの制度の「概要」ですが、他に国からの補助を受けている住宅については、原則として申請できません。ただし、エコキュートや太陽光発電などへの補助は重複して申請することができます。

※ 他にも「省エネ改修」・「バリアフリー改修」を行った事により各促進税制があり、「所得税の特別控除」もあります。

※ また「長期優良住宅先導的モデル事業 適用住宅」でしたら、上限200万円までの補助金を受ける方法があります。

いろいろな制度を上手に利用して、地球と家計の両方の負担を減らしましょう。

人と住まい(予防医学住環境)講座

山本里見 (東北住環境研究室代表 工博)

家庭内事故を防ぐ

○なぜ、高齢者は事故をおこしやすいか

たびたび触れているように、事故をおこした人には高齢者が多いのです。しかもいったん事故をおこすと、重い怪我となるのも特徴のひとつです。5人に一人が中等症以上となっていますから、それだけ気をつけなければならないわけです。また、骨折が原因で認知症になる高齢者も多いのです。

ここで、事故の内容を転倒だけに限って考えてみましょう。転倒というのは、ひっかかる、つまづく、すべる、踏み外す、壁や家具に体をぶつける、などでバランスを失って倒れることをいいます。原因は多種多様ですし、これらが重なることもあります。また、同じ転倒でも、どこで転倒したかで、怪我の重さは大違いとなります。畳の上でと、階段とで考えればわかるでしょう。不思議なことに、朝6時が骨折事故のピークだそうです。すっかり目が覚めないうちにトイレに行ったりするからでしょうか。

また、一度転倒した経験をお持ちの方は、非常に慎重になります。転倒が怖いので、外にでるのすらやめることがあり、運動しないのでますます筋肉が弱くなります。怪我の悪循環がはじまるわけです。高齢者はなぜ転びやすくなるのでしょうか。やむをえない面があります。第一に筋力が低下しているのです。足を上げたつもりになっていても、昔ほど高く上がっていないのでつまづくのです。頭の中では、昔の感覚から10cmあげたつもりなのですが、実際には5cmしか上がっていないのです。みなさんも多少は経験しているでしょうが、自分で修正するしかありません。

次に、体のバランスを維持しにくくなっています。筋力だけでなく、状況の変化に対する反応のしかたも遅く弱くなってきます。ふんばりが効かなくなっているわけです。だから、スリッパから足がはみ出ているだけで、バランスはくずれてしまいます。目は細かいところが見えにくく、耳は聞こえにくくなり、皮膚や足の裏の感覚も鈍くなります。これでは入ってくる情報量は大幅に少なくなります。第六感などの予知能力も、ほとんどなくなってしまいます。そのほかに、立ちくらみや病気による手足の麻痺もあります。

このような変化が徐々に、本人も知らないうちに進んでいるのです。あたりまえの変化ですから、強がりや云わずに、素直に現実を見つめて対応するのが必要ですね。

人、特に高齢者が行動すれば事故がおきても不思議ではないことがわかっていただけたでしょう。

次回は、「事故を防ぐ基本策」を考えます。



指田建設「暮らし勉強会」開催です！

賢いお金の使い方！

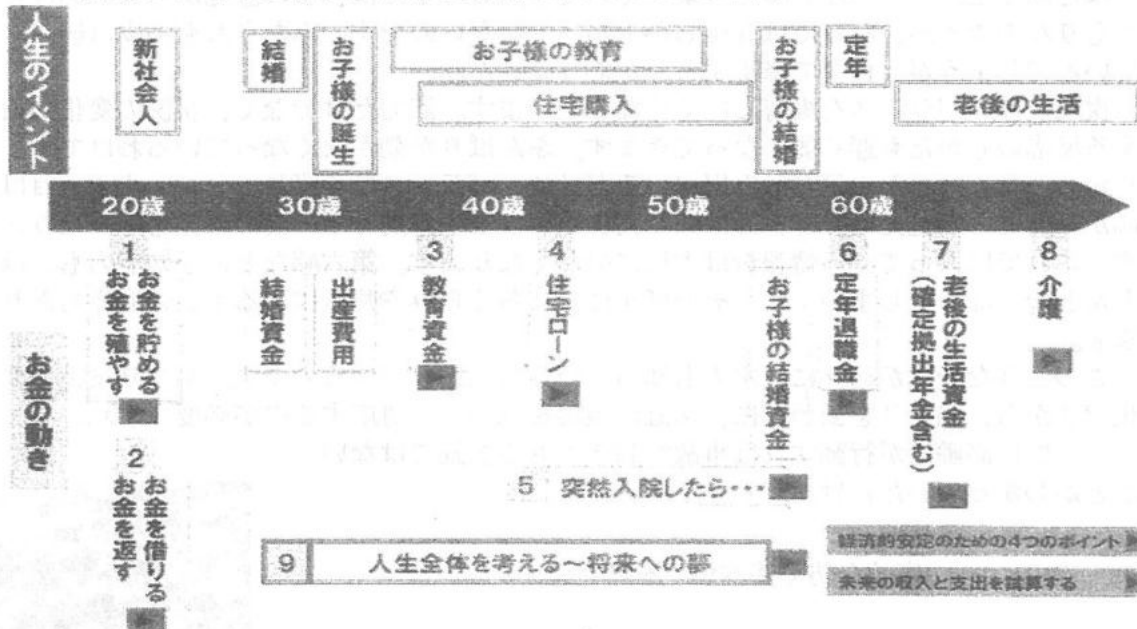
私たちが「一生を終えるまで」家計は、「収入」と「支出」のバランスです。人生には、結婚・子育て・住まい造り・定年・老後と 予想できる「出来事」が待っています。その場面に向けどの様な「準備」をしておくべきでしょうか。今のそしてこれからの環境の中、「お金」に間違いの無い働きをしてもらわなくてはなりません。

心の「健康」のために「お金の使い方」を勉強したいと思います。

- ・ 日程 2月21日(日)
- ・ 場所 入曽公民館 (入曽駅歩2分、Aコープ隣)2F 第一学習室
- ・ 内容 13:30~14:20 「ライフイベントに向けたお金の仕事」
担当 ファイナンシャルプランナー 辻本博之氏
14:30~15:00 「バリアフリー」って 何に？
(家づくり！利用しないと「モッタイない」優遇策)
担当 指田建設

人生のイベント ～新社会人から老後まで～

【ライフイベントにあわせて、お金の動きをみていきましょう】

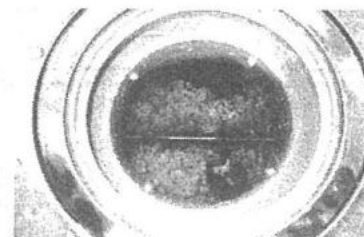


生ごみ消滅機「シンクピア」を付けました

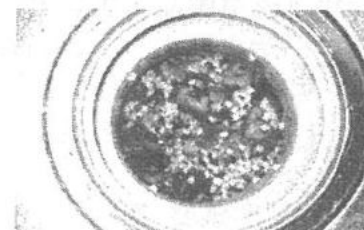
※前号でご紹介しました、「シンクピア」を自宅につけました。

- ・ 施工時間は、シンクの排水口をはずして、シンクピアを取り付けるので、約2時間かかりました。
- ・ 運転音は、モーターの音がしますが流し台の中なので、洗い物をする音よりも小さいくらいで、気になりません。
- ・ 生ごみを、バイオの力で分解するので、熱も臭いも出ません。ただ、今は冬ですので、夏になってみないとわかりませんが。
- ・ 投入できるのは、1日1kgまで。動物の骨や、玉ねぎの皮は入れられませんが、それ以外の食品から出た生ごみは大丈夫です。大きいものは、5cm以内位に切ってから入れます。
- ・ 洗剤を使っても大丈夫。漂白剤は分解の力が弱まってしまうので原液では流せません。熱いお湯も同様です。
- ・ 価格は248,000円+工事費10,000円。値段の判断は皆様にお任せしますが、考えてみますと、ウォシュレットも初めは高いと思いましたが、今ではほとんどの家にあります。食器洗い機も普及してきました。

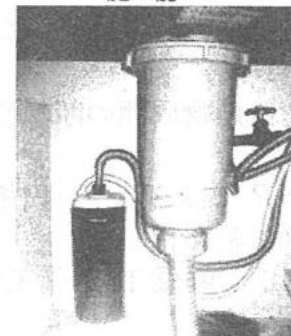
使用前。投入部分のふたを取ったところ
白いのは菌のすみか(バイオスター)です



使用開始10日目です(ふたを取ったところ)



施工前



施工後



<おすすめ情報です。>前回のピール漬けたくあんは大好評でした。

塩(しお)で洗う 体にも地球にも優しい洗い方。

たくあんを教えてくれた恵美さんが塩で体を洗うという話を、もう1年以上前に聞いていたのですが、その時は聞いただけで終わりにしていました。ところが、ずっと続けているということを最近聞きました。とってもいいのだそうです。体だけでなく、髪の毛も塩で洗えると言います。塩で洗うと、もう石鹸はかえって気持ち悪いくらいで、使えないとまで言うのです。洗濯も塩と竹炭の組み合わせで、洗剤は使わないとのこと。そこで、私も髪を洗ってみました。すると、さっぱり洗い上がり、なぜかふっくらまとまりやすくていい感じです。洗濯も洗剤を使った時と、変わらないよう(私は、仕上げに柔軟剤も使っています)です。汚れのひどい時はシャンプーや洗剤を使えばいいので、気軽に続けられそうです。

1回の使用量の目安は、塩大さじ1杯です。体を洗う時には、お湯に溶かして使います。恵美さんはそれでタワシを使って洗っています。そして、締め水で洗い流す。お風呂に入れても体が温まるそうです。